



令和2年度(2020年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第17号

よいよい学校づくりへの提言に期待感が高まる演説でした

——生徒会役員改選立会演説会【11月26日】

本校の生徒会役員選挙の目的は次の2点です。

- 学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向け、計画を立て役割を分担し協力して運営するなど、自主的・実践的に取り組むことを通して、資質や能力を育成することを旨とする。
- 生徒一人一人が生徒会活動への意欲を高め、生徒会活動をより活性化させていくきっかけにする。

上記の目的には、次のような（特別活動の）上位の目的があります。

- 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けるようにする。
- 生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見出し、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。
- 自治的な集団における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしていこうとする態度を養う。

各役職に立候補した生徒さんたちの演説には、「こんな学校にしたい」という熱い提言がありました。各候補者のいずれについても特色を出すための個性的な提言は、鮮やかな印象を与えるものでした。しかし、それらには共通する点があるとも言えます。それは「**自らの意思でよいよい学校づくりに貢献したい。そのためには、みなさんの協力が必要なんです**」という思いです。どの候補者が当選したとしても、あるいは落選したとしても、そうした提言ができる生徒さん、そしてそうした生徒さんを推薦できる人がこれだけいるという本校の現状に、今後の期待を大きくすることのできた演説会でした。

「誰か」のことじゃない。人権週間【12月4日～10日】法務省のホームページをもとに

日本国内では世界人権デーである12月10日を最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く皆様方に知っていただき、人権尊重思想の普及高揚に努力されています。

しかし、いまだに、いじめや虐待、外国人や障害のある人、ハンセン病元患者とその家族などに対する偏見や差別、企業等における各種ハラスメントなど、様々な人権問題が存在しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、感染者や医療従事者、またこれらの方々の家族などに対する偏見や差別といった様々な人権問題が発生するとともに、SNS上で他人を誹謗中傷したり、個人の名誉やプライバシーを侵害したり、あるいは差別を助長するような情報を発信したりするといったインターネット上の人権侵害も深刻な問題となっています。

本校でも各学年に応じた人権学習や教育相談を実施しています。この機会に、人権について改めて考えてみられてはいかがでしょうか？

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で[検索](#)▶